

NPO法人ありんこに
関する詳しい情報は
公式ホームページ
arinno.sakura.ne.jp
にて公開中！！

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部
編集責任者 一戸 由佳
住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1
電話 0172-96-2774
Fax 0172-55-9591

黒石「花りんご」さん見学



5月15日(水)に、やよあか職員11名が黒石の児童発達支援センター「花りんご」さんへ施設見学にお邪魔しました。

元保育園だったという施設は広々としていて、ゆったりとした印象です。

中でも浴室は、脱衣と車いす用トイレとつながっており、特殊浴槽で機械浴が中心の広々とした作りでした。リフォームの際に十分なスペースを確保することで、利用者はもちろん、職員の動きやすさにつながっていると思いました。

見学した時には児童発達支援の利用者様たちが元気に活動していて、私たちがお邪魔すると「こんにちはー」と元気な挨拶が聞かれました。

放課後等デイサービスの重心(重症心身障害児)対応もきめ細かく、その日の体調などを考慮して、出来る部分で他の子どもたちとも関わりを持ちながら過ごしているそうです。共通の利用者様についての情報交換や共有ができ、とても有意義な見学となりました。花りんごの職員の皆様、見学の機会をいただき、本当にありがとうございました。



祭りボランティアの募集

第8回目となる恒例のありんこまつりの準備が進んでいます。

今年も広く会員の皆様や学生の皆様、そして地域の皆様にもボランティアの募集をさせていただきます。

7月6日(土)の午後3時から会場の設営など、午後5時30分から午後7時30分までは販売や来場者のサポートなど。その後午後8時30分頃まで片付けとなります。出来る部分でお手伝いいただけると幸いです。

ボランティアのお問合せ、お申し込みは児童デイサービスやよいのあかり内「ありんこまつり実行委員会」

(Tel:0172-96-2774
担当 一戸(由)又は藤田まで。)



医療的ケアコーディネーターフォローアップ研修会

大型連休明けの5月11・12日の2日間、弘前市で、昨年行われた医療的ケアコーディネーター研修会のフォローアップのための自主研修会が行われました。

やよいのあかりの施設見学や、放課後等デイサービスにおける医療的ケアの現状と課題などについて、意見交換させていただきました。

詳しくは青森県立病院小児科の網塚先生のブログなどでも紹介されていますのでご覧ください。

定期総会終了

5月19日(日)第8回NPO法人ありんこの定期総会が無事終了しました。

当日は、審議にかけられた4つの議案すべてが満場一致で承認されました。

平成30年度の決算報告では、施設長から報酬単価の改正等が行われ、事業所努力も相乗して単年度で増収になっている旨の報告が合わせてなされました。

今後も職員の質の向上や、安全な施設の管理などに努め、利用者の皆様の支援を全力でさせていただきます。

なお、平成30年度の事業報告や決算報告は6月末までに県に提出します。ありんこのHPにも掲載予定ですのでご確認ください

やよあかカンタービレ♪ メンバー募集

ありんこまつりでもステージを盛り上げている「やよあかカンタービレ♪」では現在新メンバーを募集しています。音楽好きな方。新しいことを始めてみたい方。是非ご参加ください。問い合わせ先:「やよいのあかり」棟方直子まで

わたしのおススメコーナー

② 主任 一戸 愛美

「LITTLE NOOK」さんは弘前市百沢にある市内初のドッグカフェです。先日主任の愛美さんが愛犬「はちろう」と一緒に素敵なひと時を過ごしたそうです。愛犬と一緒に楽しめるよう足元が見えるテーブルや弘前らしくリンゴ用の松箱をリメイクした椅子が優しさを感じます。愛犬に優しいということはバリアフリーであろうと想像し、車椅子やバギーでのお出かけにもよさそう♪愛美さんは「ブレンドコーヒー」が「絶品でした♡」とのこと。皆さまもいかがですか？



理事長のつぶやき

「久々の衝撃」

あなたたちはがんばれば報われる、と思ってここまで来たはず。～中略～そしてがんばったら報われるとあなたがたが思うことそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないようにしてください。

あなたたちが今日「がんばったら報われる」と思えるのは、これまであなたたちの周囲の環境が、あなたたちを励まし、背を押し、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからこそです。世の中には、がんばっても報われないひと、がんばろうにもがんばれないひと、がんばりすぎて心と体をこわしたひと...たちがいます。がんばる前から、「しょせんおまえなんか」「どうせわたしなんて」とがんばる意欲をくじかれるひとたちもいます。

あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを助けるためにではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください。

(東京大学HPより抜粋)

少し前にとても話題になった今年の東大入学式での祝辞。認定NPO法人 ウィメンズ アクション ネットワーク理事長 上野千鶴子氏のものだ。全文を読み、久々に衝撃を受けた。

東大生ではないが、自分が頑張れば報われるとずっと思って生きてきた。環境のおかげだとはいえなかった。

死ぬ前に気づくことができ、良かったと思う。